

地形•地質

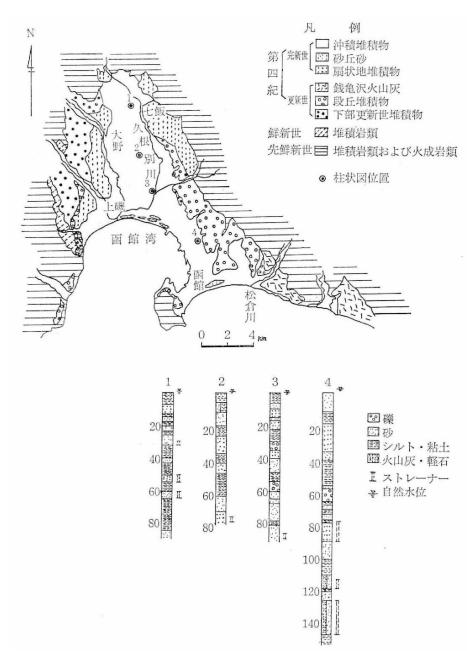
函館平野は函館湾に向かって扇形に開いた形で発達しており、沖積低地、扇状地、砂 丘地、洪積台地などからなります。

函館地域の地層層序

時	代	地	層	名	岩	相		火 成 岩 類		
第	完	沖 積	堆	積 物	火山灰, 砂礫,砂,		尼炭			
	新	崖 錐	堆	積 物	砂礫, 砂					
四	世	扇状	地堆	積物	砂礫, 砂					
	更	第2段	设丘均	推積物	砂礫,砂,	粘土				
紀	新	第1段丘堆積物			砂礫, 砂					
	世	湯の沢層・元町層 凝 灰 質 砂・凝 灰 粘土質泥瓦層・質 砂					下二股沢溶岩 (石英安山岩)			
新	鮮新	富川層礫岩,含礫砂岩, 重炭,泥炭			沙岩	函館山火山岩類 (石英安山岩) 石英安山岩				
htte	世	寒川火山噴出物						TO A PART		
第一	中	茂辺地川層			砂岩,泥岩,凝灰岩 角礫凝灰岩					
三紀	新	戸日	田 J	川層	硬質頁岩, 礫岩,砂	泥岩 昌,凝灰岩	블			
	世	湯の沢凝灰岩層			凝灰岩					
先新第三紀 先 新 第 三 紀 層			紀層	粘板岩, 輝緑凝灰岩						

地下水

沖積低地における自噴地下水の採取が可能だったので、古くから農業用として利用してきました。主要な帯水層を形成しているのは新第三紀鮮新世(富川層)〜第四紀に堆積した地層です。



函館平野の地質と深井戸柱状図

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ,1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWebページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/(日本地下水学会)